

JPCOAR研究データ作業部会 「機関リポジトリへの研究データ登録ガイドライン」公開！

甲斐尚人(大阪大学)、小林裕太(千葉大学)、石山夕記(一橋大学)、田中幸恵(名古屋大学)
朝岡誠、鹿沼智美、佐藤知生(国立情報学研究所)、南山泰之(東京大学)

- 研究データ登録の“全体像”を体系的に整理したガイドライン
- 登録手順・メタデータ・DOI・更新・非公開／削除まで、実務で困りやすい点をカバー
- 研究データ登録に関わるすべての研究支援者が使える実務書
→ 現場の不安・疑問を減らし、

登録業務の標準化と効率化を支援

機関リポジトリへの 研究データ登録ガイドライン

Ver. 1.0



目次	
I 本ガイドラインについて	3
II 事前知識	5
1 登録の前に	5
2 「研究データ」として登録対象となる資源	5
2-1 研究データの定義	5
2-2 論文と関係データ	5
III リポジトリ登録	7
1 リポジトリ登録のバターン	7
バターン 1 研究データのみを単体で登録する	7
バターン 2 研究データを論文の一部として登録する場合	10
2 登録依頼	10
2-1 登録データの受領方式	10
2-2 提出物の確認作業	12
3 登録作業	13
コラム「研究データ」登録の際に登録必須となる項目	15
4 登録完了後	18
4-1 確認作業	18
4-2 依頼者への完了通知	18
コラム「データリポジトリにおける処理」	19
データに対する処理	19
データの再構築	20

即時OA義務化に対応する“ガイドライン”が必要

- 公的資金の研究成果は論文・根拠データまで即時OAが求められる時代へ
 - ・ 研究成果の透明性・再現性を確保するため、必須の要件に
 - ・ しかしリポジトリ登録の現場では、データの扱い・登録手順・権利確認などの実務が**統一的な指針として**整理されていない状況
 - 政策要請と現場実務をつなぐ“共通のガイドライン”が求められる
 - ・ 組織として一貫した判断や運用を行うためには、全国で参照可能な**実務ガイドライン**が必要
- そこで、現場レベルの判断指針まで含めた
- 「研究データ登録ガイドライン」を作成**

ガイドラインのポイント 3つ

- ① 研究データ公開に必要な**実務プロセス**を体系的に整理
 - ・ 受領・確認・権利・メタデータ・公開・更新・非公開までを一貫して提示
 - ・ 担当者が判断に迷いやすい部分を標準化し、業務を安定化
- ② **論文と根拠データの関係**を適切に示すための基本的な枠組みを提示
 - ・ JPCOARスキーマによる関係記述の基本方針を明示
 - ・ 研究成果の関連性を正しく表現し、公開の質を高める
- ③ 公的資金の要請や機関方針と整合する登録・公開の基準を提供
 - ・ メタデータ共通項目(内閣府)等に対応した入力項目を整理
 - ・ 即時OAへの対応や機関内ワークフローの整備に活用可能

自機関のリポジトリ運用にぜひご活用ください！

- ・自機関のワークフロー構築・改訂にそのまま使えます
- ・研究データの公開体制を整えるための「実務の必携書」

ガイドラインは以下からダウンロード可能です

<https://doi.org/10.34477/0002000667>

